

明渡承諾書（所有権放棄書）

令和7年12月1日（*1）

賃貸人 ●●●● 殿

賃借人 ●●●● 印（*2）

前略 私は、令和●年●月●日（*3）をもって、貸与されていた鍵類等（ＩＣカード類等を貸与されていた場合はこれも含み、また、スペアを作製していた場合はこれも含みます。）を返還の上、下記建物を明け渡します。同期日の翌日以降は、下記建物（敷地及び共用部分含みます。）に存する造作・動産等一切の残置物（*4）の所有権を放棄し、これを処分・廃棄されても一切の異議を述べません。

草々

記

所 在 千代田区麹町●丁目●番地

家屋番号 ●●●番

床面積 ●●㎡

以 上

- *1 日付はできる限り賃貸借契約終了日以降の日付にすること（契約日と同日ではほとんど意味がない）。
- *2 署名捺印を得る過程に注意すべきである。複数人で取り囲んで語気強く署名捺印を迫るなどした場合には、真意に基づく承諾ではないとして無効とされる可能性があるので注意。
- *3 一定の猶予期間を設け賃借人に残置物を運び出す機会を十分に与えること。
- *4 残置物の範囲を明確に特定しておくこと。